学校番号	1006

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報の表現と管理	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	情報の表現と管理（実教出版）						
副教材等	自主教材等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主にコンピュータを利用した実習の授業です。メディアやインターネットを通じて情報を適切に受け取ったり送ったりすること、文字・画像・映像・音声などを目的に応じて加工し新しい情報を創造して発表・発信すること、情報の管理を適切に行うこと、ＤＸを活用していくなど、この授業で学習することが今後の授業や仕事で活かしていけることを期待しています。

2　学習の到達目標

・情報の表現と管理に関する基礎的な知識と技術を習得する。
・情報を目的に応じて適切に表現できる。
・情報を目的に応じて適切に管理し活用できる。
・豊かな人間性をもち情報の分野に積極的に学ぼうとする力を習得する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報の各分野に関する基礎的･基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	・情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、情報産業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付ける。	・情報の各分野に関する諸課題についての関心をもち、その改善･向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	情報活用とメディア	○メディアの種類と特性 ○コミュニケーションの基礎	a: 「情報」を意識し、使い分けができたか。状況に応じて必要な情報を選択できるか。メディアの種類・特性・発達の過程を理解できたか。コミュニケーションの種類と技法を理解できたか。 b: 文字・画像・音、映像の特色を踏まえて例をあげて分類できるか。状況に応じたコミュニケーション手段を選択できたか。 c: 身の回りの「情報」という概念に気づくことができたか。情報の送り手・受け手として心構えができたか。	授業観察 ワークシート 実習課題 レポート 等	授業観察 ワークシート 実習課題 レポート 等	授業観察 ワークシート 実習課題 レポート 等
一学期・二学期	情報の表現	○文書による表現 ○図解による表現 ○音による表現 ○画像による表現 ○動画による表現 ○プレゼンテーション ○ネットワークを利用した情報発信	a: 情報を表現するときに、ワープロソフト・表計算ソフト・オーサリングソフト・画像加工ソフト・動画編集ソフト・プレゼンテーションソフトなどを適切に操作し情報を発信することができるか。文書・図解・音・画像・動画で情報を表現するときに、それぞれの利点や特性を理解できたか。 b: 情報を表現するときに、状況に応じて文書・図解・音・画像・動画から適切な表現方法を判断することができたか。 c: 文書・図解・音・画像・動画で情報を表現するときに、それぞれの利点や特性を意識し積極的に課題制作に取り組むことができたか。	授業観察 ワークシート 実習課題 発表 等	授業観察 ワークシート 実習課題 発表 等	授業観察 ワークシート 実習課題 発表 等

三学期	情報の管理	○ドキュメンテーション ○情報の管理 ○コンピュータによる情報の管理と活用	a: 形式にあったドキュメントの作成・分類項目にそった情報の整理・セキュリティ対策の実施・対象に適切な情報管理ソフトの活用ができるか。記録として残すドキュメントの形式についての理解・セキュリティ技術や情報管理技術の理解ができたか。 b: 利用用途や場面に応じてドキュメントの選択・フィルタリング・セキュリティ対策・情報の管理手法が考えられるか。 c: さまざまなドキュメンテーションの違いやフィルタリング・セキュリティ対策、コンピュータによる情報管理について関心を持ち積極的に課題に取り組めたか。	授業観察 ワークシート 実習課題 発表 等	授業観察 ワークシート 実習課題 発表 等	授業観察 ワークシート 実習課題 発表 等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度